

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月17日(金)

事務事業		消防活動事務		担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	4528
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	・消防法 ・消防組織法 ・消防力の整備指針				
	小項目	2	消防・救急体制の充実						
	主要プロジェクト								
事業概要		複雑多様化する各種災害に対して、消防職員の訓練、研修等を実施し技術、知識の向上を図る。 各種資器材の点検、整備により消防活動に必要な資器材を常時使用可能な体制に整え迅速、的確な消防活動を遂行する。							
目的 ※何のために		市民の生命、身体及び財産を各種災害から保護するとともに、被害の軽減を図る。							
対象 ※誰・何を対象に		市民の生命、身体及び財産。							
手段 ※どのように		複雑多様化する災害に対応するため、訓練、研修を実施するとともに、資器材の点検、整備を行い災害等による被害の軽減を図る。							
成果 ※何を求めるか		業務の総合的な強化、充実に回り、迅速に各種災害活動を行い損害を最小限に留め、市民の生命、身体及び財産を守る。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・水火災の災害対応業務				・事業所等の消防訓練指導			
		・消防訓練の立案、調整、実施に関する業務				・各種報告書、統計及び即報の作成事務			
		・警防調査及び水利の点検に関する業務				・			
		・消防資器材の維持管理業務				・			
		・火災原因及び損害の調査				・			
		・り災証明発行事務				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費相当試算※	777,900	778,200	786,100	813,600	776,192	813,135
総事業費試算		777,900	778,200	786,100	813,600	776,192	813,135

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	火災出場件数（暦年）		目標値	件						
			実績値		26	39	29	26	13	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			火災出場件数であり、目標値の設定に値しない。/出場件数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	訓練・研修回数		目標値	回	14	14	14	14	14	14
			実績値		14	34	14	14	14	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年間訓練計画及び各訓練計画に基づき目標値を設定。 / 実施回数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	資器材点検実施率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			100%の資器材点検を目標とする。 / 実施日／365日×100						
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材常時使用可能率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			車載されている全資器材の常時使用可能率。 / 使用可能数／全資器材×100						
	実績値の算出式									
成果指標 2	火災による死傷者数（暦年）		目標値	人						
			実績値		2	6	5	3	5	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			火災死傷者数であり、目標値の設定には値しない。 / 火災による年間死傷者数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	火災1件当たりの焼損棟数（暦年）		目標値	棟	0	1.59	1.59	1.59	1.59	1.59
			実績値		1.3	2.05	1.6	1.1	1.87	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			前年の埼玉県の数値とし、より現実的な目標とした。（平成29年数値） / 年間焼損棟数合計／年間建物火災						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	火災出場件数は年々減少している。コロナ禍であったが年間訓練計画に基づき、計画的に訓練及び研修を実施した。また、資器材点検も日々実施した結果、災害等で異常なく使用できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	資器材点検を毎日実施することで、災害時に資器材を適切に使用することができた。また、火災件数は減少したものの、火災1件当たりの焼損棟数が目標値を超えてしまった。しかし活動は、迅速確実に実行した。
			評価者 消防係長 木村 昇・野口貴玄

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	現在のICT活用では、データや映像の共有で災害対応強化を実施しているところである。今後はWeb会議や研修を効率よく行い、署々間の連携強化を図っていく。
			評価者 消防係長 木村 昇・野口貴玄

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	深谷式消防戦術を運用し、「出場から放水開始までの時間」を令和4年度の指標値である6分30秒（まちづくり指標値からそれぞれ年度ごとに目標を設定）を目指す。そのために、災害現場までの適切なルート選定が行えるよう地利の把握に努め、出場から放水開始までの時間短縮を図る。さらに、迅速なホース延長及び早期放水隊形を構築するための訓練を通して、火災による被害の軽減を図る。
達成状況及び その効果	令和3年度の「出場から放水開始までの時間」は、6分15秒と目標値の時間を短縮することができた。「火災1件当たりの焼損棟数」は目標値を超えてしまったが、「出場から放水開始までの時間」は住宅火災における目標値のため、住宅火災における1件当たりの焼損棟数とした場合の実績値は1.33となる。そのため、早い放水の効果により被害の軽減に繋がった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防活動事務	担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	4528
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		深谷式消防戦術の成果により、消防車出場から放水開始時間（消防力の整備指針で示す延焼阻止の条件）の目標値6分30秒を達成できている。今後も目標値を達成できるよう現在の水準を維持する必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	花園消防署長兼花園消防署長 小暮 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	花園多目的1の導入や令和3年度の成果を踏まえて、活動訓練や職員研修を実施し消防戦術のさらなる検討を行い、安全、確実に質の高い消防サービスを提供する。 また、「ふかや花園プレミアムアウトレット」での災害に対応できるよう、平日と土日・祝日等の渋滞を考慮したルートを調査研究し、火災等の災害を最小限に止めるため、活動に必要な計画を作成し対応訓練を実施する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	令和4年度同様に、深谷式消防戦術を継続し、技術の向上を目指していく。また、地域の特性を考慮し、予算規模に応じた消防資器材の維持管理計画が必要である。

8. 評価指標グラフ

